

授業概要

幼児期・小学校「生活」は児童の遊びの活動を中心に内容が構成されている。体験や具体的な活動を通して学ぶという発達段階にある子供の姿から、指導者としての支援や指導の在り方を追究し、子供への共感的な理解の大切さに気付くことを目指している。映像の分析や考察、具体的な活動や体験を通して、活動の質を高めたり広げたりする環境構成や働きかけなどグループでの協議をとりいれながら講義を進めていく

授業計画

第1回	「生活」のなかにある学び
第2回	子ども時代の「体験」の価値
第3回	子どもの空間知覚の発達
第4回	様々な事象とのかかわりが刻む「原風景」
第5回	身近な自然とかかわるフィールドワーク～草花とかかわることを通して
第6回	思考・表現 観察・表現活動 「凶鑑をつくろう」
第7回	伝え合い、学び合い
第8回	領域（環境）と生活科
第9回	生活科の授業の実際 単元「作って遊ぼう」
第10回	身近な素材とかかわるワークショップ～動くおもちゃの制作・遊びの工夫を通して
第11回	試行錯誤・表現活動
第12回	絵本でブックトーク
第13回	生活科授業の実際 ～ 1年生と園児との交流活動
第14回	幼児教育と小学校教育の接続
第15回	総合的な学習の時間への接続
第16回	定期試験の実施

到達目標

- ・身近な人・社会・自然と価値のあるかかわりが生まれる環境の構成を考えたり、思考・表現する活動を工夫したりして、学びが深まる活動の流れを考え、計画したり、働きかけたりすることができる。
- ・体験を通して学ぶという発達段階にあることを理解し、身近な事象を学習材として吟味し、目標の達成に向けて適切な学習材を開発したり選択したりすることができる。

履修上の注意

- ・各回の授業内容は連続性をもたせているため、欠席の場合には、授業内容や課題の把握を行い、授業に支障がないよう対応すること。

予習・復習

- ・授業で扱う内容について事前に課題を提示するので、読みを深め課題意識をもって臨むこと。
- ・資料を再度読み返し、内容を再整理すること。課題については、次回提出をめざし取り組むこと

評価方法

- ・振り返りのまとめ・授業への参加度 30% ・課題レポート・課題作品 30%
- ・筆記テスト 40%

テキスト

幼稚園教育要領解説
 小学校学習指導要領解説 生活編 文部科学省 日本文教出版